HOCKEY JAPAN LEAGUE

高円宮牌 2014ホッケー日本リーグ【　女子　】　第　4　節　第　9　日

開催日時　6　月　21　日（　土　）　会場　日光市ホッケー場　天候　雨のち曇り

【全試合結果】

第1試合 13:30	ソニー HC BRAVIA Ladies	3	2 － 0 1 － 0	0	東海学院大学
第2試合 15:00	グラクソ・スミスクライン Orange United	2	1 － 0 1 － 0	0	山梨学院 CROWNING GLORIES
第3試合		0	－ －	0	
第4試合		0	－ －	0	

【各試合の結果・詳細】

第1試合

ソニー HC BRAVIA Ladies	3	2 － 0 1 － 0	0	東海学院大学

勝点 25　　　　勝点 4

8 勝 1 分 0 敗　　　　1 勝 1 分 7 敗

＜得点＞

SONY　：20分山本、24分日隈、48分坂井

東海学院　：

＜戦評＞

№33の試合は、大雨のため、30分遅れての開始となった。立ち上がりはスピードある攻撃を見せるSONYが、フリーシュートを放つなど、優位な展開となった。一方、東海学院は、速いパス回しから攻撃を仕掛けるが、なかなかサークルインできない。20分、SONY#20山本が右からの回り込みからプッシュシュートを決め、先制する。さらに、24分、SONY#17日隈がサークルトップからのリバースシュートで2点目を決め、東海学院を引き離す。前半終了間際、東海学院がPCをとりシュートするも得点には至らず、前半を終えた。

後半も立ち上がりからSONYがPCをとるなど、SONYペースでの展開となった。東海学院も10分に続けてPCをとるが、得点することができない。その直後の13分、SONYがPCをとり、#4坂井がストレートでシュートを決め、3点目をあげる。その後もSONYペースで試合が進む中、東海学院も一瞬の隙から攻撃を仕掛けるが、両チームとも得点のないまま、3―0でSONYが勝利した。

テクニカルオフィサー	市村　美幸	アンパイア	山田　恵美
ジャッジ	関根　由美子・若林　美枝		野澤　達

第2試合

グラクソ・スミスクライン Orange United	2	1 － 0 1 － 0	0	山梨学院 CROWNING GLORIES

勝点 12　　　　勝点 10

4 勝 0 分 5 敗　　　　3 勝 1 分 5 敗

＜得点＞

グラクソ　：35分片峯、46分狐塚

山梨学院

＜戦評＞

グラクソのセンターパスにより試合開始。グラクソは、立ち上がりから積極的な攻撃を仕掛け、押し気味に試合を展開する中、5分、ゴール前の混戦からPSをとるが、ゴールポストに阻まれ得点できない。一方、山梨学院は、グラクソの攻撃に対し、好守で得点を与えず、その後も両チームとも決定的なチャンスがないまま、一進一退の攻防が続く。前半終了間際、35分、グラクソ#8片峯がサークルトップからリバースシュートを決め、1-0で前半を終えた。

後半に入ると、追いつきたい山梨学院は、攻撃を仕掛ける。37分、39分にDFのミスからPCをとるが、トラップミスなどでシュートに繋がらない。一方、グラクソはカウンターから攻撃のチャンスをうかがう。46分、グラクソ#11柴田が相手ボールを奪うと、長いドリブルから#10松浦が中継し、#7狐塚が押し込み2-0とした。その後も、グラクソは何度となくいい形をつくるが、パスの制度を欠き、追加点を奪うことができない。追いつきたい山梨学院も堅い守りから攻撃に転じるもチャンスをつくれず、そのまま2-0でグラクソが逃げ切った。

テクニカルオフィサー	市村　美幸	アンパイア	我妻　順子
ジャッジ	関根　由美子・若林　美枝		押田　幸二

HOCKEY JAPAN LEAGUE

高円宮牌 2014ホッケー日本リーグ【 女子 】 第 4 節 第 9 日

開催日時 6 月 21 日（ 土 ） 会場 立命館大学柊野ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 13:00	コカコーラウエスト レッドスパークス	3	2 － 0 1 － 0	0	天理大学ベアーズ
第2試合 15:00	立命館大学	0	0 － 0 0 － 0	0	南都銀行SHOOTING STARS

【各試合の結果・詳細】

第1試合

コカコーラウエスト レッドスパークス	3	2 － 0 1 － 0	0	天理大学ベアーズ

勝点 23　7 勝 2 分 0 敗

勝点 1　0 勝 1 分 8 敗

＜得点＞

CCWR	: 15分湯田、17分加藤、64分新井
天理大学	:

＜戦評＞

コカ・コーラウエストレッドスパークスのセンターパスで試合開始。序盤からコカコーラが優勢にゲームは進む。コカコーラの攻撃に対し、天理大学ベアーズの粘り強い守りで、決定機を与えない。試合が動いたのは14分、コカコーラは＃13加藤が右サイドを素早いドリブルでエンドライン際まできれこみ、中央の＃10湯田へ。それをしっかりと押し込みコカコーラが先制する。続く17分にもコカコーラは＃13加藤がヒットシュートをゴールの右に決め2−0と突き放す。天理大学ベアーズもカウンターからチャンスをうかがい得点を狙うが、コカコーラの堅い守備を崩すことができない。後半に入っても玉際の強さで勝るコカコーラのペースが続く。コカコーラは数多く決定機を作るが、決めきれない時間帯が続き、逆に天理は粘り強い守りから徐々に反撃する回数が増えてくる。しかし63分コカコーラは右からのセンタリングに＃9新井が倒れ込みながらあわせて待望の追加点をあげ、3−0とする。そのまま試合は終了し、コカコーラが3−0で勝利となった。

テクニカルオフィサー	清水　恭子	アンパイア	根岸　郁美
ジャッジ	山内　善博・木村　朋代		萩原　真由美

第2試合

立命館大学	0	0 － 0 0 － 0	0	南都銀行SHOOTING STARS

勝点 11　3 勝 2 分 4 敗

勝点 17　5 勝 2 分 2 敗

＜得点＞

立命館大	:
南都銀行	

＜戦評＞

南都銀行SHOOTING STARSのセンターパスで試合が開始された。立ち上がりから一進一退の互角の展開。最初にチャンスを得たのは立命館大学ホリーズ。14分、15分と続けてPCを得るが得点には至らない。対する南都は＃9野村、＃10大塚を中心に素早い攻撃でチャンスを作るが得点には至らない。そのまま両チーム無得点で前半を折り返す。後半に入り、39分南都がPCから放ったシュートは、キーパーにはじかれ惜しくもゴールポスト。あとわずかのところで得点することができない。ゲームも終盤にさしかかり得点の欲しい南都銀行は、＃3眞鍋を起点として、攻め込む時間帯が増えるが、最後のところで立命館大学守備陣の粘り強い守りを崩すことができない。両チーム最後まで果敢にゴールを狙うが、結局スコアレスドローで試合を終えた。

テクニカルオフィサー	清水　恭子	アンパイア	壽山　由樹
ジャッジ	山内　善博・木村　朋代		元宗　広寿